

6/30-7/6#4 新しい夫:I.キリストは新しい夫です:ローマ7:2 結婚している女は、夫が生きている間は、律法によって自分の夫に縛られています。もし夫が死ねば、夫に関する律法から解放されます。3 ですから、夫が生きている間に別の男に結び付くなら、彼女は淫婦と呼ばれますが、もし夫が死ねば、彼女はその律法から解かれるので、別の男に結び付いても、淫婦とはなりません。4 こういうわけで、私の兄弟たちよ、あなたがたもキリストの体を通して、律法に対して死んでいるのです。それは、あなたがたが別の方、すなわち、死人の中から復活させられた方に結び付いて、私たちが神に対して実を結ぶためです。5 というのは、私たちが肉の中にあった時、律法を通して活動していた罪の激情は、私たちの肢体の中で働いて、死に至る実を結ばせていたからです。A再生された存在として、男の信者も女の信者もキリストが彼らの夫であり、そして彼らは彼の妻の一部です。B真のクリスチャンはみな、キリストが彼らの夫です。しかし、残念なことに、多くの者は、彼を夫として知っていません。

II.私たちの古い人、古い夫は、十字架につけられました:Aローマ7:2-4前半は、二人の夫を見せています:1第一の夫、古い夫は、6:6で述べられている古い人であり、キリストと共に十字架につけられました。ローマ6:6 私たちは次のことを知っています。私たちの古い人が彼と共に十字架につけられたのは、罪の体が無効にされて、私たちがもはや、罪に奴隷として仕えることがないためです。2第二の夫、新しい夫は、7:2-4で述べられており、それはキリストです。B私たちの古い人、すなわち私たちの古い夫は、キリストと共に十字架につけられたので、私たちは彼の律法から解放されており、そして新しい夫、永遠に生きている方であるキリストに結合されています。C信者として、私たちは二つの身分を持っています:1第一のものは、墮落した古い人としての私たちの古い身分です。この古い人は、神に依存する妻という本来の地位を捨てて、夫またかしらという思い上がった地位を取って、神から独立しています。2第二のものは、再生された新しい人としての私たちの新しい身分です。この新しい人は、神に対する真の妻としての、私たちの本来の正しい地位へと回復されており、神に依存し、神を私たちのかしらとしています。イザヤ54:5 あなたの造り主はあなたの夫であり、万軍のエホバが彼の御名だからである。イスラエルの聖なる方はあなたの贖い主であり、全地の神と呼ばれる。3 私たちはもはや古い夫という身分を持っていません。なぜなら、私たちは十字架につけられたからです。4 私たちは

今や正しい妻という新しい身分だけを持っています。その中で私たちはキリストを私たちの夫としています。そして私たちはもはや古い人にしがたって生きるべきではありません。もはや古い人を私たちの夫とするべきではありません。D律法は、古い夫(古い人)のために意図され、古い夫(古い人)に対して与えられたので、古い人の死はまた、キリストの体を通して私たちが律法に対して死なせました。

III.私たちの古い人はキリストの体を通して、律法に対して十字架につけられました。それは、私たちが別の夫、すなわち死人の中から復活させられたキリストと結婚するためです:Aこの「結合」が示していることは、妻としての私たちの新しい身分において、私たちがキリストの復活の中で、パースン、名前、命、存在においてキリストと有機的な結合を持っているということです。今や、私たちは新しい夫であるキリストと結婚しています。2コリント11:2 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。

Bキリストは私たちの夫ですから、私たちは彼に依存し、彼を私たちのかしらとしなければなりません:1キリストを私たちの夫とすることの意味は、私たちであるすべて、私たちが持っているすべて、私たちが行なうすべてを終結させて、あらゆることにおいて彼に信頼するということです。2キリストを私たちの夫とすることの意味はまた、私たちがキリストの中へと信じるということです。3私たちは、もはや自分自身によって生きるべきではなく、キリストによって生きるべきです。私たちは、キリストに私たちに代わって生きていただかなければなりません。4私たちはもはや夫ではありません。古い人としての私たちは十字架につけられました。今やキリストが私たちの夫です。Cキリストは、私たちのかしらであるだけでなく、私たちのパースンと私たちの命でもあります。D一人の人が三一の神の中へと信じてバプテスマされるとき、彼は別のパースンと関係を持つようになります。彼は別のパースン、キリストと結婚します。

IV.妻として、私たちは神に対して実を結びます:A私たちは復活の中にいて、神に対して生きるとき、神に対して実を結びます。B再生された人として、妻として、私たちは神に対して実を結びます。これが意味することは、私たちの行なうあらゆることが、今や神と関係があるということです。Cここに、死と神との間の鮮やかな対比があります。D「神に対して実を結ぶ」という句は、神が実として生み出されることを意味します:1こういうわけで、私たちであるすべてと私たちの行なうすべては、生ける神

でなければなりません。**2**私たちは神を生み出して、神のあふれ流れとしなければなりません。このようにして私たちは、私たちの実としての生ける神を持ち、神に対して実を結ぶようになります。**V. 私たちは、縛られていた律法に対して死にました。それは、私たちが律法から解放されるためです。私たちは、妻また新しい人として、もはや律法の下にいません:**ローマ7:6 しかし、私たちは縛られていたものに死んだので、今や律法から解放されました。その結果、私たちは文字の古さの中ではなく、霊の新しさの中で仕えているのです。**7** それでは、私たちは何と言いましょくか? 律法は罪なのでしょうか? 絶対にそうではありません! しかし、律法によらなければ、私は罪を知りませんでした。「あなたはむさぼってはならない」と律法が言わなかったなら、私はむさぼりを知らなかったでしょう。**A** 律法は神を描写し、定義しています。**B** こういうわけで、律法は墮落した人に対して、多くの要求と規定を持っています。そして、そうすることによって、律法は罪を罪として識別し、人を罪の認識へと導きます。**C** このようにして、人は律法によって暴露され、征服されます。**VI. 妻として私たちはまた、文字の古さの中ではなく、霊の新しさの中で主に仕えるべきです:**ローマ6:4 　　こういうわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新しさの中を歩くためです。**A** 6:4には、命の新しさがあり、それは私たちの生活のためです。7:6には、霊の新しさがあり、それは私たちの奉仕のためです:**1** 命の新しさは、私たちがキリストの復活と結合されることからやって来るものであり、私たちの日常生活の歩みのためです。**2** 霊の新しさは、私たちが律法から解放されて、復活したキリストに結合されることからやって来るものであり、神に対する私たちの奉仕のためです。**3** 霊の新しさも命の新しさも、古い人が十字架につけられた結果です。**B** 命の新しさも霊の新しさも、その霊と関係があります:**1** 命の新しさは、復活の中にあるキリストご自身と関係があり、彼は命を与える霊です。**2** 「霊の新しさ」という句の中の「霊」は、私たちの再生された人の霊を指しており、その中にその霊としての主が住んでいます。**a** 私たちは霊の新しさの中で仕えることができます。なぜなら、神は私たちの霊を更新してくださったからです。**b** 私たちの再生された霊に関するあらゆることは、新しいです。**c** 私たちの再生された霊は、新しさの源です。なぜなら、主、神の命、聖霊は、私たちの再生された霊の中におら

れるからです。**d** 私たちの再生された霊の中にあるあらゆるものは、新しいです。私たちの再生された霊の中には、新しさだけがあります。**C** 私たちが認識する必要のあることは、私たちが新しい人として、古い人の律法から解放されており、私たちの新しい夫、復活したキリストに結婚させられているということです。それは私たちが神に対して実を結び、霊の新しさの中で主に仕えるためです。

証 2人のある青少年の姉妹について証をします。

1人目は、高校1年生の姉妹です。今年4月に王子公園近くの学校に通うようになってから、学校のある日は毎日、王子公園学生福音センターに来て朝毎の復興をするようになりました。当初は、享受した内容を用いて祈ることもなかなかできませんでした。毎日の積み重ねで、今では享受した内容を用いて祈ることができるようになりました。また、朝毎の復興の後は学校生活の事などを、心を開いて話してくれるようになりました。朝毎の復興で少しずつキリストの命が御言葉を通して、内側に供給されることで、小組に参加したり、主日の食事奉仕も一緒に取り組んだり、前よりも召会生活の中にもたらされるようになりました。主に感謝します!

2人目は高校3年生の姉妹です。この姉妹は、中学生の頃からコロナや引っ越し等の影響で、召会生活を離れていました。彼女が高校生になってから、私が訪問するようになりました。少しずつ召会生活が回復されてきましたが、堅固ではありませんでした。しかし、今年春から青少年地区の奉仕者に加わった雨欣姉妹がおもに顧みるようになり、彼女の召会生活はだいぶ安定するようになりました。週末に三宮集会所で宿泊して、姉妹たちの小組に参加し、主日集会もほぼ毎週現場であずかるようになりました。また、海外の聖徒たちとのブレンディングにも積極的に参加し、からだの交わりをエンジョイするようになりました。ハレルヤ! 私はこの2人の姉妹たちを牧養する中で、私たちの奉仕は死んだ文字の律法的な奉仕ではなく、霊の新しさの中で、人を命としてのキリストと召会生活にもたす奉仕であることを実際として経験し学ぶことができました。これからも絶えず学ぶ霊をもって、青少年の若者たちを顧みたいと思います。**祈り** おお主イエスよ、私の古い人、古い夫は、十字架につけられました。今や、私は新しい夫であるキリストと結婚しています。新しい夫に依存し、妻として、神に対して実を結びます。「神に対して実を結ぶ」とは、神が実として生み出されることです。私は神を生み出して、神のあふれ流れとしなければなりません。